



幸樹

こう じゅ

第 105 号

2023 年 12 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



光は闇の中に輝いている 闇はこれに打ち勝たなかった ヨハネの福音書1章5節

絵・高橋 聖大

佐々木雄太郎さんにお聞きしました

「ただ一生懸命やっただけ。」

佐々木 雄太郎さん（93歳）は岩手県釜石市で生まれ、当時はやんちゃな少年だったとお聞きしています。本家のお寺の和尚さんに遊んでばかりいる事を怒られ、10代後半に実家を離れ東京に出て来られました。化粧品会社に勤めていた時に奥さんと知り合い結婚をされ、東京の練馬区で長女さん誕生。その後より3人での生活となりました。

25歳の頃、都バスでの勤務、地方公務員となり、恵まれた環境の中仕事をされていたと伺っています。「仕事を見つけるのが大変な時代だった。」

東京に来てからは運が良かった。当時の営業所で新宿から東京などのルートを30年以上運転して来たよ。運転は念には念を入れてやってきたよ」とお話ししてくださいました。

親戚の方からは「雄太郎さんの車に乗るのが一番安心だ」と言われていた程、安全運転を心がけていたそうです。



佐々木雄太郎さん

2023年5月外出先で転倒し鼻や手、膝を骨折してしまいました。自宅でベッドから離れられない生活、居室から歩けない状態が続いていました。

同居の長女さんは「24時間眠れなかった」とおっしゃる程、介護に専念されました。

骨折した事をきっかけにあんず看護、リハビリが関わり、体調管理やリハビリを集中的に行いました。雄太郎さんの頑張りの結果、7月にはもともと通っていたデイサービスが再開出来る程、身体も動ける様になり、

今では週3回デイサービス、週2回のデイケアに通っています。

「最高だんべな。娘はようやってくれる。お陰でこうして生きていられる。大したもんだ」と笑顔で話を締めくくられました。

看護師のこころ

あんず訪問看護ステーション

所長 南雲朋子

Aさんが、他市の病院から自宅へ戻ってくる時のやり取りの中で感じた事です。

Aさんは40代女性、癌末期の明るい前向きな方です。周りの方々と残された時間を楽しみながら毎日を過ごしていました。ある日、訪問診療の準備中に病状が悪化、他市にある主治医のいる病院に緊急搬送となりました。この時、医療関係者は、「もう自宅には戻れないかも？」と感じていました。しかし、本人と家族は家に戻ってくることを疑いもせずに行きました。そして、訪問診療の準備も整い、退院日が決まりました。私は、病院の担当の相談員、看護師と介護タクシーの手配を急ぎました。そんな中、Aさんご夫婦と友人でもある幸樹会のスタッフ中野夏希さんが「自家用車で戻ってくるって。」私は、「えっ。そんな無茶な！」と。中野夏希さんが続けます。「本当は、介護タクシーを使う状態だと思うけど、最後のドライブだとしたら...良いよね？」

癌末期、自宅看取り、本人が望むことは叶えてあげると強い覚悟を持っているご主人。

残された時間を考えると迷っている場合にはありません。退院当日に訪問看護に入りました。黄染も浮腫みもありますが、Aさんの表情は穏やかです。

私が「久しぶりのドライブ、いかがでしたか？」と問うと最高の笑顔で「最高！」とAさん。

私は、気づかない内に看護師の立場で看護師の当たり前を選択していました。しかし、Aさんのご主人は、病気のAさんを思いやり、人としての当たり前を選択しました。Aさんのあの笑顔が忘れられません。

Aさんご夫婦、中野夏希さん、人としての当たり前を気づかせてくれて感謝します。

看護のこころは、人としての優しさの中にあります。そのことを痛感した出来事でした。

「幸樹105号の発行明後日だけれど、中野君の山田行パート2の原稿来てないよ。それから、高橋さんの絵貼り付けてくれる?」「わかった。貼り付けて土台作った。私の記事は明日書いてメールで送ります。」

そんな言葉を交わした11月29日夕方。その翌日早朝に天国に逝ってしまうことになるとはお互いに思っていませんでした。

幸樹会理事であり、私の一人息子の中野夏希が不慮の事故により天国に召されたのは11月30日のことでした。それから嵐の中にいるような日々を送り、幸樹の発行が遅れましたことをお詫びいたします。

幸樹は毎月1日に発行と決めて、どんな時にもそれを守ってきましたが、初めて遅れてしまいました。こんなことになるとは誰も思っておらず、皆、原稿をくれていたのですが、今回は中野夏希の代わりに私が書くことにします。

復興支援活動は2011年の東日本大震災で大きな打撃を受けた岩手県への支援を中心にしてきました。幸樹104号で書いたように、毎年行っていたのですが、コロナで中断してしまっていた活動です。久しぶりの活動となった今回は、東日本大震災で、津波による被害と共に福島第一原子力発電所の爆発で被害を受け、帰宅困難区域となった浪江町や双葉町を見にいこう、そして震災遺構である浪江町立請戸小学校の見学をしようと決めました。

絶望だけでなく希望を見よう

数ある震災遺構から中野夏希が請戸小学校を選びました。高速道路を走っていくと放射能の量を示すシーベルト数も上がってきます。だんだん高くなっていくのを横目で見つつ、請戸小学校まで来ました。

「放射能が気になったら車を降りなくてもよいからね。」と中野君が言ったのをよく覚えています。一緒に行った4人のメンバーは、自分たちの目で、その恐ろしさを見て、私たちはどうあるべきか考えるために来ているので、むろん車を降りて見学しました。震災遺構請戸小学校の公式ホームページをご覧いただけたらと思いますが、そこには「私達が伝えたいのは悲劇だけではありません。」とあります。福島県浪江町は福島県浜通り（沿岸部）の北部に位置し、双葉郡に位置します。

3.11のあの日、請戸地区は津波による死者が127名、行方不明者27人と多くの犠牲者が出ました。海から約300mに位置する請戸小学校でも、誰も経験したことのない長い揺れに襲われました。防災無線が大津波警報の

発令を知らせる中、校舎には下校した1年生11人を除く2年生から6年生の児童82人が残っていました。教職員はすぐに児童に対して避難を促し、避難場所に指定されている学校から1.5km離れた大平山を目指しました。教頭先生が最後に校舎内外を確認していると大津波が押し寄せてくるのが見え、地震発生から約40分後に請戸諸学校は津波の被害に遇いました。児童たちは、避難場所を超えて更に数キロ山道を歩き、内陸の国道6号線で通りかかったトラックに乗せてもらい、役場敷地内にあるサンシャイン浪江にたどり着き、児童と教職員全員が無事に避難できたという奇跡の学校ともいわれています。校舎等がその日のまま残されており、津波の被害の恐ろしさ、そして誰一人取り残されなかったという奇跡を見ることができます。

震災遺構の意義

震災遺構の意義「倒壊を免れた校舎に刻まれた津波の恐ろしさ、教員・生徒全員が避難できた経験、自分事として震災をとらえ、防災について考えるきっかけ」にして欲しいというメッセージをしっかりと受け止めました。自分たちの日常にも防災意識をしっかりと働かせていきたいと思えます。

また、私事で恐縮ですが、中野夏希が生前に賜りました御恩に感謝いたします。



中野夏希理事



デンマーク便り...53

ラスムッセン 京子

複雑怪奇なデンマークの不動産購入

デンマークの不動産の高騰は少し収まったものの不動産価格10%も下がっていません。2020年から平均で2倍になった中古住宅の価格は未だ高いままです。私は現在夫とボーンホルム島の1973年に建てられた中古の住宅に住んでいます。とは言え単身赴任でコペンハーゲンのあるシェランド島の病院に勤務していますから、週末だけ島で生活しています。

将来は長女の住む Jyllinge というシェランド島の街に家を購入しようと現在探しています。でもなかなか手ごろな価格で手に入る家は有りません。

夫婦2人だけなので110㎡もあれば良いのですが、それだと約6600万円位の価格です。しかも気を付けないと1970年代には2500Lの石油燃料タンクが敷地内に埋蔵されている住宅があり昨今、タンクから燃料が漏れだし土壤汚染を引き起こし、持ち主が1000万円ほどの費用を投じてタンクを掘り出し、廃棄処理と汚染処理をしているとの報道が後を絶ちません。

私が気に入った住宅も例にもれずタンクが埋蔵されていて諦めようと思っています。



環境庁の条例ではタンクを空にして密閉したら4週間以内にその承認を受ける必要があります。建物の近くや駐車場の近くに埋蔵され

ている場合は、空にした後タンクの中に砂を詰める必要があります。残念ながらタンクは空にしていない様です。BBR という不動産の状態の登記所に只密閉したと書かれているだけです。

この地域は現在天然ガスで暖房している家が殆どを占めています。1980年以降になると天然ガスのボイラーが一般的ななったようです。

現在では空気から温水へ地熱から温水へといった熱交換器が主流となっています。これは電力を使用するので汚染ガス少ないためです。

ですから1990年以降の中古住宅を購入できれば理想的ですが、如何せん2000万円ほどそれ以前の物件より効果ですし、新築には手が届かないので致し方ありません。

七草マラソンに参加します

今年も1月7日(日)七草マラソンに参加します。幸樹会からも8名が参加しますので、その意気込みを聞きました。参加が決まってからそれぞれ自主トレをして体調を整えています。会場や沿道で見かけたら応援よろしくお願いします。

意気込みをどうぞ

- ・息子と一緒に笑顔で完走できるように頑張ります。
(あんず訪問看護ステーション所長 看護師 南雲朋子)
- ・完走できるように一生懸命走りたいと思います。
(あんず訪問看護ステーション副所長 理学療法士 遠藤誠)
- ・安全第一で頑張ります。
(看多機さんしょう 介護士 加藤義幸)
- ・自分への挑戦です。ベストを尽くします。
(あんず居宅介護支援事業所 田中和世)
- ・今年も走ります。自己ベスト更新します
(看多機さんしょう副所長 岡本健吾)
- ・最後まで頑張ります
(看多機さんしょう 介護福祉士 ロイヒ)
- ・完走目指して頑張ります。
(あんず訪問看護ステーション看護師 長谷川美幸)
- ・今年も走ります。完走目指して頑張ります
(看多機さんしょう介護福祉士 宮田敬子)

八柱学習会のお知らせ

11月の学習会は14名の参加でした。

▼次回学習会予定(「定例日:毎月第3金曜日)

12月15日(金) 18:00~、あつまーれ幸樹

テーマ:「ハラスメント対策」

報告

岩橋多恵子氏(あんず居宅介護支援事業所 所長)

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

907KWh

幸樹会館電力使用量 4038KWh 自給率 22.46%



職員募集! 非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ: 本部中野まで、☎047-701-7550